

# 次期京都市基本計画説明資料

## 政策分野 < 大学 >

1	序	
1 - 1	京都市基本構想における関連記述	1 P
1 - 2	現行京都市基本計画に掲げた政策	2 P
2	次期京都市基本計画策定に向けた論点	3 P
2 - 1	論点1 現状と課題	4 P
2 - 2	論点2 政策の基本方向	6 P
2 - 3	論点3 市民と行政の役割分担と共汗	1 1 P
2 - 4	論点4 10年後に目指すべき姿	1 3 P
3	参考資料	
3 - 1	参考データ, 資料	1 8 P
3 - 2	市民の声	3 0 P
3 - 3	主な分野別計画の概要	3 2 P
3 - 4	融合委員会ワークショップ結果	3 3 P





# 1 序

## 1 - 1 京都市基本構想における関連記述

### ～ 活力あふれるまち～

まちがにぎわい，若いひとたちがいきいきと学び働ける場が増えるとともに，世界のひとびとがこの地に集まり，ここを舞台にみずからの能力を十分発揮できる機会も増える。



## 1 - 2 現行京都市基本計画に掲げた政策

### ～ 大学の集積・交流が新たな活力を生み出す ～

国公立を合わせて37の大学・短期大学を中核とする高度で豊富な学術研究機能は京都の優れた都市特性であり，人口の約1割に相当する学生や教員，研究者等の多彩な人材，あらゆる分野の「知」の集積は，活力あるまちづくりに欠かせないものである。

この個性豊かな大学の集積を維持・発展させるとともに，地域社会との交流や産業界との連携を深め，魅力に満ちた「大学のまち・京都」を推進する。



## 2 次期京都市基本計画策定に向けた論点

### 論点1 現状と課題

活かすべきチャンス（追い風）は？ 放置できない問題（向かい風）は？  
活用できる資源（強み）は？ 克服すべきこと（課題）は？

### 論点2 政策の基本方向

今後10年間の基本的考え，価値観は？

### 論点3 市民と行政の役割分担と共汗

政策の推進に当たって市民や行政が行うべきことは？

### 論点4 10年後に目指すべき姿

10年後のあるべき姿やそれが達成された状況を図る指標・目標値は？



## 2 - 1 論点1 現状と課題

### 論点1 現状と課題

活かすべきチャンス（追い風）は？ 放置できない問題（向かい風）は？

活用できる資源（強み）は？ 克服すべきこと（課題）は？



## 2 - 1 論点1 現状と課題 < 現状分析 >

外部環境分析（施策を推進するうえで、追い風又は向かい風となる変化や社会的な状況）	
追い風	向かい風
国の「留学生30万人計画」の方針にのっとり、留学生増加への気運	18歳人口の減少 全国的な大学・短大の定員割れ傾向（私立大学のうち既に5割近い四年制大学）
京都の現況分析（他都市等と比較して、京都の現況が優位又は劣位である事項）	
京都の強み	京都が解決・克服すべき課題
大学キャンパスの市内への回帰 市内37大学・短期大学のスケールメリットと(財)大学 コンソーシアム京都による大学連携の力 単位互換制度、インターンシップ等の先駆的な取組による、「大学のまち京都」の魅力とブランド力 昭和60年代より推進してきた「大学のまち京都」の施策の実績 大学と地域との連携が進んでいる 京都のまちの活性化の一翼を担う学生は、人口の約一割を占める ベンチャーの都・京都としての、産学公連携	市内での土地の確保や、京都の景観やまちづくりと整合したキャンパス整備への支援 大学の国際化及び留学生誘致に向けた、国際社会への「大学のまち京都」の発信 留学生の増加に見合った留学生用宿舎の確保 留学生との共生についての市民の理解



## 2 - 2 論点2 政策の基本方向

### 論点2 政策の基本方向

今後10年間の基本的考え，価値観は？



# 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」

推進期間 平成21年度～平成25年度（5年間）

特徴

初めて、京都市と（財）大学コンソーシアム京都とが協働で策定し、推進するもの。

従来の「大学のまち京都」に加えて「学生のまち京都」の推進を図る。

国の「留学生30万人計画」の方針を踏まえ、本市においても留学生倍増（1万人）を目指す。

## 「大学のまち京都」「学生のまち京都」推進の意義

### 学術研究都市としての都市格の向上

大学の集積により、学術研究、文化芸術、国際交流、新産業創出等の発展、大学の国際的な情報発信・人材交流による都市格とまちの魅力の向上への貢献

### 地域の教育力の向上

大学の知的資源による保育所・幼稚園・小中高・統合支援学校等の教育のレベルの向上と、市民の生涯学習機会の提供への貢献

### 産業・経済効果

産学公連携による産業科学技術振興の促進、大学・学生による経済効果、人材・労働力としての貢献

### 文化・芸術等の振興

伝統的な技能・技法への先端技術の活用や学生の力等による文化・芸術発展への貢献と、個性あふれる大学の集積による文化首都の地位向上

### 優秀な人材の集積及び輩出

国際的に活躍する人材の育成・輩出による京都の発展への貢献と、留学生の母国と京都との架け橋としての貢献

### 学生と地域の連携によるまちのパワー向上

社会貢献活動や地域活動への学生の参画によるまちの活力の創出・向上



## 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」

### 「目指すべきビジョン」

#### 世界に誇る「大学のまち」「学生のまち」

国内でも他に比類ない「大学のまち」として、一層の飛躍を遂げるため、京都ならではの「学びの環境」を充実するとともに、産学公及び地域の連携によるまちづくりを更に進める。

また、「学生のまち」として、留学生を含む優秀な学生等の増加に向けた取組の推進・人材育成に力点を置くと同時に、学生のパワーにより、京都力を高め、未来の京都づくりにつなげる。

そして、魅力と個性あふれる「世界に誇る「大学のまち」「学生のまち」」の実現を目指す。



# 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」

## 「施策の推進」

### 主な事業

**学生の確保に向けた「学びの環境」の充実**

京都で学びたくなる  
「大学のまち」の仕組みづくり

- (1)大学連携による「大学のまち京都」の競争力強化
- (2)京都ならではの学習プログラムの開発・提供
- (3)「大学のまち京都」の国内外への効果的な発信
- (4)京都の景観を形成する大学施設の積極的な整備
- (5)民間からの寄付による大学支援の促進

ICTを活用した次世代型単位互換制度の構築  
各大学の持ち味を活かし、単位互換制度の内容・構成の魅力を更に高めるとともに、ICTを活用した次世代型の単位互換制度の構築を推進します。

**大学施設整備の支援と誘導**  
新景観政策にも対応した「京都市大学施設整備支援・誘導のためのガイドプラン」に基づいて、周辺地域の景観やまちづくりに合った施設整備を進めます。  
また、地域への開放を促進し、京都の景観やまちづくりに配慮するなどの良好な大学施設の整備に対しては、都市計画上の規制等の弾力的な運用や京都市の市有地の活用などを行い、大学施設の展開・立地を支援します。

**大学の国際化に向けた、優秀な留学生等の受入拡大と国際社会に対応した人材の育成**

留学生等の飛躍的な増加に向けた  
「広報」「支援」「交流」

- (1)海外からの優秀な留学生等の増加に向けた取組
- (2)留学生や研究者等への生活支援
- (3)京都における生活を豊かにする取組
- (4)国際社会に対応した人材の育成

**京都が好きになるきっかけづくり**  
留学生が、気軽に京都の様々な施設を見学・体験することにより、京都の文化芸術に親しみ京都を好きになるきっかけとなるよう、京都市の元離宮二条城、京都国際マンガミュージアムをはじめとする文化施設の一定期間無料入場やコンサート等イベントへの招待等の取組を推進します。



# 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」

## 主な事業

### パワーあふれる「学生のまち京都」の実現

学生が持つエネルギーによる  
「京都力」の強化

- (1)学生の主体的活動への支援
- (2)学生のエネルギーを「京都力」向上へつなげる取組
- (3)学生の未来に向けた取組

学生の活動を応援するプロジェクトの展開  
京都のまちの活性化に学生のエネルギーを活かすため、京都学生祭典への支援、キャンパスプラザ京都等も活用した、学生の活動の拠点づくりや「学生の日」の創設、キラリと光る学生、地道に社会貢献する学生等を応援するための表彰・支援等の「輝く学生応援プロジェクト」を学生の参画のもと展開します。

### 産学公地域連携の推進による京都地域の活性化

産業・地域の活性化、  
研究成果の活用に向けた連携強化

- (1)産学公の連携により、京都の経済を活性化し、雇用を創出する仕組みづくり
- (2)大学・学生と地域との連携の促進
- (3)小中高大(院)連携の推進
- (4)大学との連携による研究の推進と活用

学生と地域やNPO等との交流・連携の推進  
学生と地域との交流促進に向けて、地域の祭りや行事への学生の参画を促進するコーディネート機能を構築します。

また、市民活動総合センターでは、学生がNPOや他の学生と交流できる場を提供します。

京都ならではのものづくり産業の推進  
ベンチャー企業の育成や知恵産業の創出を図るため「未来創造型企業支援プロジェクト」や「知的クラスター創成事業」の推進、「知恵産業融合センター」の創設など、産学公連携により京都ならではのものづくり産業を振興します。



## 2 - 3 論点3 市民と行政の役割分担と共汗

### 論点3 市民と行政の役割分担と共汗

政策の推進に当たって市民や行政が行うべきことは？



## < 市民と行政の役割分担と共汗事例 >

### 京都学生祭典

大学の枠を超えた学生の課外活動交流と自己表現の場を提供することを目的に事業展開。大学生，大学京都市，京都府，経済界，地域社会が連携し，学生がプロデュースする市民の祭り。

(平成21年度来場者数227,000人)

### 大学地域連携モデル創造支援事業(学まちコラボ事業)

魅力ある地域づくりや地域の課題解決に向けて，大学・学生と地域が一体となって取り組む事業を広く募集し，助成金を交付する事業で，「大学のまち」「学生のまち」の京都ならではの都市特性を活かした事業。

事業例	愛宕古道街道灯し	嵯峨野保勝会と京都嵯峨芸術大学が作りあげてきた祭である「愛宕古道街道灯し」に使用する1,000基行灯の一部を，学生，地域住民や地域の団体等がワークショップ形式で制作し，ものづくりを通じた人とのつながりを生み出す。また，広報活動の一環として，学生がデザインしたTシャツを祭り当日や行灯制作に着用し，祭の盛り上がり貢献する。
	京北子どもプロジェクト	地産地消に基づいた食育の授業を通して，食の安全や伝統的な食文化の大切さを子どもたちに伝え，地域の自然及び文化資源を教材とするESD(持続可能な社会のための教育)の新たなあり方を追求することを目的として，納豆発祥の地という京北地区において，納豆作り，納豆授業，ワークショップなどを実施し，地域の伝統的な食文化の継承・発展などを旨す。

### 「京都学生消防サポーター制度」(平成19年12月創設)

197名の学生が登録。防火防災の知識や技能を身に付けることで，地域の災害対応力の強化に貢献。

### 「学生ボランティア」による学校サポート

66の大学等と協定を締結し，1年間に約2,000名の学生がボランティアなどで，学校の教育活動支援に参画していただいている。補助内容は，担任の補助，学校行事，部活動等。



## 2 - 4 論点4 10年後に目指すべき姿

### 論点4 10年後に目指すべき姿

10年後のあるべき姿やそれが達成された状態を測る指標・目標値は？

指標とは・・・

10年後の京都の姿を市民と行政が共有するための目じるし  
市民と行政が共に目指す京都の姿を、言葉や数値で表すもの  
目標値は、数値で表した指標の10年後に目指すべき水準



## < 主な指標 >

### 分野別計画で掲げている指標

指標	目標値 (目標年次)	現況値 (20年度)	備考
学生数の維持・増加(本市の学生の全国に占める割合)	4.6%以上 (平成25年度末)	4.6%	
留学生倍増	10,000人 (平成29年度末)	4,688人	

### 「未来まちづくりプラン」の「政策推進プラン」で用いている指標

指標	目標値 (目標年次)	現況値 (20年度)	備考
大学地域連携モデル創造支援事業(応募数)	30件 (平成23年度末)	17件	
「学生ボランティア」学校サポート事業 (ボランティア派遣延べ回数)	22,500回 (平成23年度末)	21,737回	
留学生住居整備プロジェクト (行政・大学等が提供する留学生住戸数)	2,000戸 (平成29年度)	約950戸	



## 政策評価で用いている指標

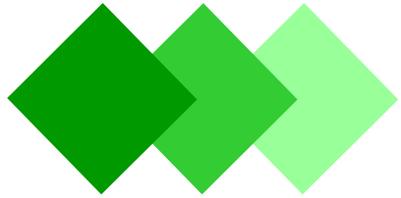
指 標	現況値（20年度）
単位互換提供大学数	46校
単位互換受講者数	6,836人
キャンパスプラザ京都貸室利用率	63.8%
京カレッジ受講者延べ数	1,112人
大学発ベンチャー企業数	140社
起業家学校等修了生の創業率	25.6%
京都産学公連携機構のHPアクセス数	122,532件
公開講座を開講している大学数	36校
図書館を地域に開放している大学数	36校
大学数	37校
学生数	138,509人
教員数	8,493人
芸術系大学作品展入場者数	3,457人
芸術大学定期演奏会有料入場者数	2,691人
芸大日本伝統音楽研究センター共同・プロジェクト研究会開催日数	44日



## 1万2千人市民アンケート( )で提案のあった指標

指 標
ノーベル賞受賞者数
外国人留学生への学習サポーター数
学生数
研究発表の場の数
大学・企業共同研究数（開発，新事業展開数など）
留学生の数
若者の定着率

1万2千人市民アンケート...次期京都市基本計画の策定に当たって実施したアンケート調査(20年度)



## 3 参考資料

3 - 1	参考データ, 資料	18 P
3 - 2	市民の声	30 P
3 - 3	主な分野別計画の概要	32 P
3 - 4	融合委員会ワークショップ結果	33 P



# 大学キャンパスの動き

## < 市外への大学流出 >

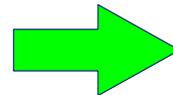
- 昭和61年 同志社大学田辺キャンパス開設（現京田辺市）  
同志社大学（1・2回生）移転（田辺キャンパス）  
同志社女子大学短期大学部設置（@田辺キャンパス）  
同志社女子大学学芸学部移転（田辺キャンパス）
- 昭和62年 平安女学院短期大学移転（高槻市）  
成安女子短期大学移転（長岡京市）
- 平成元年 龍谷大学瀬田キャンパス開設（大津市）  
龍谷大学理工学部・社会学部開設（@瀬田キャンパス）
- 平成6年 立命館大学びわこくさつキャンパス(BKC)開設  
立命館大学理工学部移転（BKC）  
同志社大学工学部移転（田辺キャンパス）
- 平成10年 立命館大学経済学部，経営学部移転（BKC）

## < 市内への回帰 >

- 平成18年 立命館大学朱雀キャンパス開設（二条駅前）  
立命館大学本部・法科大学院を移転（@朱雀キャンパス）
- 平成19年 平安女学院大学国際観光学部設置（@京都キャンパス）
- 平成21年 同志社大学神学部・社会学部再移転（@今出川キャンパス）  
同志社女子大学2学科再移転（@今出川キャンパス）  
\* 英文学科・日本文学科
- 平成22年 佛教大学仏教学部等設置予定（@紫野キャンパス）
- 平成23年 佛教大学二条キャンパス開設予定（二条駅前）
- 平成25年 同志社大学文系全学部再移転予定（@今出川キャンパス）



大学まち京都から  
大学が流出！



大学キャンパスが、  
京都市内へ回帰！！

京都の強みー大学キャンパスの市内への回帰



# 京都市の大学政策に関する経過

実施年	取組内容
昭和60年	大学問題対策委員会（庁内組織・都市計画局所管）
平成2年	企画調整局新設
平成5年	「大学のまち・21プラン」策定
平成6年	「京都・大学センター」発足
平成7年	「京都市大学施設整備支援・誘導制度」創設（「大学施設整備支援窓口」開設）
平成8年	「京都市大学のまち交流センター」基本計画策定
平成9年	総合的生涯学習講座「シティーカレッジ」開設
平成10年	「（財）大学コンソーシアム京都」設立
平成12年	「京都市大学のまち交流センター」竣工・開館
平成13年	「京都市工場・大学等制限法の許可に関する運用方針」策定
平成14年	「工場等制限法」の廃止（近畿3府県3指定都市の要望）
平成15年	「知の創出・活用特区」の認定 第1回京都学生祭典開催
平成16年	「大学のまち・わくわく京都推進計画」策定 大学地域連携モデル創造支援事業開始 大学院等共同サテライトの設置
平成18年	「京都市大学施設整備支援・誘導のためのガイドプラン」策定
平成19年	「京（みやこ）カレッジ」開講（「シティーカレッジ」の改編）
平成21年	「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」策定

大学キャンパスの市外への流出を踏まえ、全国に先駆けて、「大学のまち京都」を守り、更に推進する取組を積極的に展開！

## 京都の強みー「大学のまち京都」の施策の実績



# 学生数・学校数の推移

	京都市			全 国 (文科省学校基本調査)				18歳人口 (万人)	学生数 対全国比 K/Z
	学生数(K)	16年比	学校数	学生数(Z)	16年比	学校数	進学率		
4	131,132	94.9	38	2,817,807	92.6	1,114	38.9 %	205	4.70%
5	136,529	98.8	38	2,919,942	96.0	1,129	40.9 %	198	4.70%
6	135,744	98.3	38	3,002,443	98.7	1,145	43.3 %	186	4.50%
7	138,680	100.4	38	3,045,165	100.1	1,161	45.2 %	177	4.60%
8	139,606	101.1	38	3,069,946	100.9	1,174	46.2 %	173	4.50%
9	141,775	102.6	38	3,080,540	101.2	1,181	47.3 %	168	4.60%
10	135,159	97.8	37	3,084,911	101.4	1,192	48.2 %	162	4.40%
11	136,005	98.5	37	3,078,956	101.2	1,207	49.1 %	155	4.40%
12	136,999	99.2	37	3,067,703	100.8	1,221	49.1 %	151	4.50%
13	136,307	98.7	38	3,054,903	100.4	1,228	48.6 %	151	4.50%
14	138,226	100.1	37	3,053,118	100.3	1,227	48.6 %	150	4.50%
15	138,123	100.0	37	3,054,042	100.4	1,227	49.0 %	146	4.50%
16	138,136	100.0	38	3,043,049	100.0	1,217	49.9 %	141	4.50%
17	138,431	100.2	37	3,084,406	101.4	1,214	51.5 %	137	4.50%
18	139,008	100.6	38	3,061,466	100.6	1,212	52.3 %	133	4.50%
19	138,848	100.5	37	3,015,375	99.1	1,190	53.7 %	130	4.60%
20	138,509	100.3	37	3,008,853	98.9	1,182	55.3 %	124	4.60%
21	139,237	100.8	37	3,006,942	98.8	1,179	56.2 %	121	4.60%

205万人をピークに18歳人口は激減!



一方で進学率が上昇するも、学生数は徐々に減少!



京都市の学生数は維持(微増)!!



学生数全国比は、平成10・11年から増加傾向

向かい風—18歳人口の減少



## 大学・学生数の政令市比較,学生数人口比

区分	学校数			学生数			推計人口 (平成21年5月 1日現在)	人口に占める学 生数の割合(%)
	計	大学	短期大学	計	大学	短期大学		
札幌市	22	14	8	57,140	53,219	3,921	1,896,704	3.0
仙台市	13	10	3	49,778	48,880	898	1,029,576	4.8
さいたま市	5	3	2	16,133	15,504	629	1,197,471	1.3
千葉市	14	9	5	28,349	26,808	1,541	943,568	3.0
東京都区部	128	91	37	502,157	483,971	18,186	8,717,529	5.8
横浜市	17	11	6	83,153	80,434	2,719	3,643,641	2.3
川崎市	7	4	3	32,196	30,946	1,250	1,385,003	2.3
新潟市	11	6	5	22,119	20,071	2,048	811,613	2.7
静岡市	7	4	3	15,725	14,402	1,323	709,888	2.2
浜松市	7	6	1	11,307	11,039	268	811,553	1.4
名古屋市	23	16	7	92,162	88,959	3,203	2,243,564	4.1
<b>京都市</b>	<b>37</b>	<b>25</b>	<b>12</b>	<b>139,237</b>	<b>134,076</b>	<b>5,161</b>	<b>1,468,065</b>	<b>9.5</b>
大阪市	19	11	8	32,416	28,126	4,290	2,649,601	1.2
堺市	8	5	3	12,627	11,614	1,013	835,202	1.5
神戸市	26	21	5	70,966	68,816	2,150	1,532,305	4.6
岡山市	11	8	3	28,738	27,198	1,540	701,451	4.1
広島市	17	13	4	32,867	30,410	2,457	1,164,885	2.8
北九州市	13	9	4	23,123	21,566	1,557	985,046	2.3
福岡市	19	11	8	76,651	71,971	4,680	1,434,650	5.3

人口に占める学生の割合は、政令市でトップ！

**京都の強み—京都のまちの活性化の力となる学生は、人口の約1割**



## 全国私立大学等入学定員充足率の推移

大学	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
100%以上	378	382	329	338	299
50%以上100%未満	140	143	201	204	237
50%未満	15	17	20	17	29
(100%未満の割合)	29.1%	29.5%	40.2%	39.5%	47.1%
合計	533	542	550	559	565

短期大学	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
100%以上	236	224	179	140	117
50%以上100%未満	144	143	176	206	213
50%未満	20	16	18	19	30
(100%未満の割合)	41.0%	41.5%	52.0%	61.6%	67.5%
合計	400	383	373	365	360

全国的に私立大学・短期大学の定員割れの傾向がある！

5年間で約1.6倍増

向かい風—全国的な大学・短大の定員割れ傾向



# 国の留学生30万人計画（平成20年7月29日策定）

文部科学省，外務省，法務省，厚生労働省，経済産業省，国土交通省

## 1 趣旨

日本を世界により開かれた国とし，アジア，世界の中のヒト・モノ・カネ，情報の流れを拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として，2020年を目途に30万人の留学生受入れを目指すもの。

このため，日本留学への関心を引き起こす動機づけや情報提供から，入試・入学・入国の入り口の改善，大学等の教育機関や社会における受入れ体制の整備，卒業・修了後の就職支援等に至る幅広い施策の方向性を「留学生30万人計画」骨子としてとりまとめた。

## 2 方策の項目

- (1) 日本留学への誘い・日本留学の動機づけとワンストップサービスの展開・
- (2) 入試・入学・入国の入り口の改善・日本留学の円滑化・
- (3) 大学等のグローバル化の推進・魅力ある大学づくり・
- (4) 受入れ環境づくり・安心して勉学に専念できる環境への取組・
- (5) 卒業・修了後の社会の受入れの推進・社会のグローバル化・

国による，大学への補助をはじめとする，留学生受入に向けた取組の推進

追い風一国の「留学生30万人計画」による留学生増加への気運



## 市内留学生数

今後，留学生受入れに向けた取組の強化に伴い，宿舎をはじめとする受入環境の整備が必要

	市内 総数	国籍別（一部）									単位：人
		中国	韓国	アメリカ	タイ	ベトナム	インドネシア	マレーシア	ドイツ	フランス	
H16	4,125	2,272	637	132	85	81	60	52	47	40	
17	4,231	2,299	691	119	87	79	62	49	51	40	
18	4,311	2,466	640	118	97	103	66	61	44	58	
19	4,513	2,497	772	180	90	101	69	55	58	56	
20	4,688	2,532	833	165	108	111	81	62	79	52	

**課題一留学生の増加に見合った宿舎の確保**



# 大学コンソーシアム京都

## 概要

大学，地域社会及び産業界との協力による大学教育改善のための調査研究，情報発信交流，社会人教育に関する企画調整事業等を行い，これらを通じて大学と地域社会及び産業界との連携を深めるとともに大学相互の結びつきを深め，教育研究の更なる向上とその成果の地域社会，産業界への還元を図り，わが国の学術研究と高等教育の発展に寄与することを目的として，平成10（1998）年3月に設立認可された。

加盟団体（平成21年4月現在）

大学・短期大学：33大学，17短期大学（部），1放送大学京都学習センター

地方公共団体：京都市

経済団体：京都商工会議所，京都経営者協会，社団法人京都経済同友会，社団法人京都工業会

法人の概要

代表者 理事長 八田 英二

基本財産 1億円（うち京都市出せん額 5千万円，出せん率 50.0%）

主な事業

京都市大学のまち交流センター指定管理委託業務

単位互換制度

インターンシッププログラム

<京都市との共同事業>

学まちコラボ事業（大学地域連携モデル創造支援事業）

大学のまち京都・学生のまち京都推進会議

平成21年度については，「輝く学生応援プロジェクト」及び「学生の活動拠点」の創設に向けた検討

京（みやこ）カレッジ（平成18年度から指定管理事業）

所在地等

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939キャンパスプラザ京都内

全国一の組織体制による，先駆的な事業の展開  
大学連携のスケールメリットを活かした事業の展開

**京都の強みー37大学のスケールメリットと大学コンソーシアム京都による大学連携の力**



# 京都市内大学及び大学コンソーシアム京都加盟大学

国立	3	京都大学	京都教育大学	京都工芸繊維大学
公立	4	京都市立芸術大学 京都市立看護短期大学	京都府立大学	京都府立医科大学
私立	30	大谷大学 京都嵯峨芸術大学 京都精華大学 京都ノートルダム女子大学 同志社大学 平安女学院大学 京都情報大学院大学（大学コンソーシアム京都非加盟） 大谷大学短期大学部 京都嵯峨芸術大学短期大学部 平安女学院大学短期大学部 京都経済短期大学	京都外国語大学 京都産業大学 京都造形芸術大学 京都薬科大学 花園大学 立命館大学 京都外国語短期大学 京都女子大学短期大学部 龍谷大学短期大学部 聖母女学院短期大学	京都光華女子大学 京都女子大学 京都橘大学 種智院大学， 佛教大学 龍谷大学 京都光華女子大学短期大学部 華頂短期大学 池坊短期大学，
市外等大学	コンソーシアム京都加盟大学	14	京都学園大学 [ 亀岡市 ] 成安造形大学 [ 大津市 ] 明治国際医療大学 [ 南丹市 ] 京都医療科学大学 [ 南丹市 ] 京都短期大学 [ 福知山市 ] 明治鍼灸大学医療技術短期大学部 [ 南丹市 ] 京都医療技術短期大学 [ 南丹市 ] 京都西山短期大学 [ 長岡京市 ] 放送大学京都学習センター	京都創成大学 [ 福知山市 ] 同志社女子大学 [ 京田辺市 ] 大阪成蹊大学芸術学部 [ 長岡京市 ] 大阪医科大学 [ 高槻市 ] (大学コンソーシアム京都特別会員) 京都文教短期大学 [ 宇治市 ] 京都文教大学 [ 宇治市 ]

\* 大学の本部の所在地により，市内又は市外を分類しています

京都市内37の大学・短期大学による、「大学のまち」京都の推進

**京都の強みー市内37大学・短期大学のスケールメリットと大学コンソーシアム京都による大学連携の力**



## 大学コンソーシアム京都の事業（単位互換制度）

年 度	提供大学数	提供科目数	出願者数	履修者数
平成 6 年度	2 8 大学	51科目	1,915人	1,789人
平成 7 年度	3 1 大学	85科目	3,045人	2,690人
平成 8 年度	3 3 大学	101科目	4,818人	3,379人
平成 9 年度	3 7 大学	129科目	8,504人	5,230人
平成 1 0 年度	3 7 大学	160科目	9,139人	5,858人
平成 1 1 年度	3 9 大学	209科目	10,312人	6,119人
平成 1 2 年度	4 2 大学	289科目	11,407人	7,705人
平成 1 3 年度	4 5 大学	361科目	14,270人	10,049人
平成 1 4 年度	4 6 大学	411科目	12,359人	9,976人
平成 1 5 年度	4 7 大学	401科目	12,377人	9,774人
平成 1 6 年度	4 7 大学	409科目	12,327人	9,645人
平成 1 7 年度	4 7 大学	450科目	11,795人	10,200人
平成 1 8 年度	4 6 大学	552科目	11,181人	9,426人
平成 1 9 年度	4 6 大学	535科目	10,186人	8,515人
平成 2 0 年度	4 6 大学	506科目	7,728人	6,836人
平成 2 1 年度	4 6 大学	504科目	7,803人	6,898人

四十六大学による、多様な他大学の講義が所属大学の単位認定につながる「大学連携の力」

京都の強みー大学コンソーシアム京都の先駆的な取組による「大学のまち京都」の魅力とブランド力



## 大学コンソーシアム京都委託事業（京（みやこ）カレッジ事業）

	内 容	目 的	単 位
大学講座	大学の正規科目であり，これまでのシティーカレッジの中心講座。単位互換制度を活用し，市民に対しても開放された科目で構成	高度な学習機会を提供	可
市民教養講座	各大学・短期大学で行われる大学公開講座等で構成。これまで財団で実績がある「プラザカレッジ」及び各大学で実施する公開講座を活用するもの	市民の広範な関心に応じた学習機会を提供	不可
キャリアアップ講座	資格取得に関連する講座を中心に構成	キャリアアップに資する学習機会を提供	不可
京都力養成コース	京都の活性化に資する人材を育成するための科目で構成 キャンパス外での学習や鑑賞活動を通じて京都活性化のきっかけ作りとなる科目，フィールド調査や企画立案実習を通して京都地域に貢献する人を育てる科目	地域社会の活性化に資する人材の育成	不可

年 度	19	20	21 (前期)	差引増 減 (21 20)	前年比
提供大学数(校)	37	42	40	2	95.2%
科目数(科目)	453	425	448	23	105.4%
出願者(延)(人)	924	1,112	1,441	329	129.6%
出願者(実数)(人)	433	473	557	84	117.8%

数多くある生涯学習の中で，京カレッジの受講生増加！

21年度は，前期のみ。出願者数には，履修許可後の辞退者及び定員超過等による未受講者を含む。

### 京都の強みー37大学のスケールメリットと大学コンソーシアム京都による大学連携の力



## 大学コンソーシアム京都（インターンシッププログラム）

大学連携の力を活かしたプログラムによる，400を超える多様な企業における就業体験

年度	出願者数（人）	受講者数（人）	登録企業等（団体）	受入企業等（団体）
平成10年度	348	190	72	72
平成11年度	426	346	148	145
平成12年度	593	358	180	169
平成13年度	646	363	191	165
平成14年度	893	512	292	239
平成15年度	1298	523	296	246
平成16年度	946	509	279	227
平成17年度	994	560	291	231
平成18年度	1189	680	424	288
平成19年度	1047	630	416	284
平成20年度	923	605	412	289

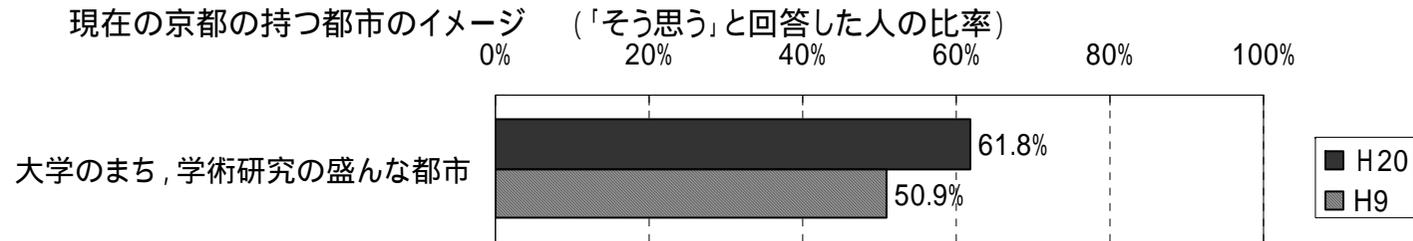
京都の強み—インターンシップ等の先駆的な取組による、「大学のまち京都」の魅力とブランド力



## 3 - 2 市民の声

### 市民の声

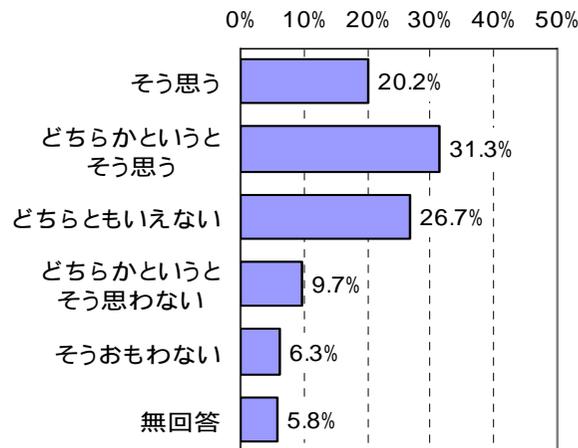
◇ 京都の都市イメージとして、「大学のまち，学術研究の盛んなまち」であると思う人の割合は増加(1万2千人市民アンケート結果)



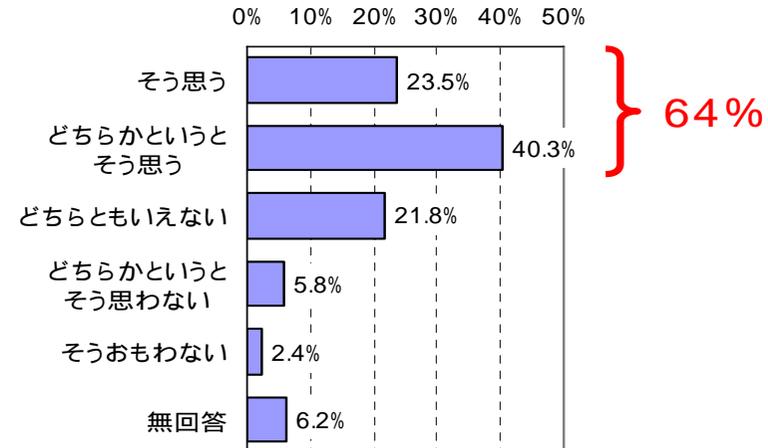
◇ 「京都は，大学間の交流が盛んであるなど，「大学のまち」として魅力がある。」と思う人は増加

(京都市市民生活実感調査の経年比較)

< 平成16年度 >



< 平成21年度 >



} 52%



} 64%



## 各区基本計画策定に当たって現時点で出された課題

上 京 区	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域や大学，NPO等との連携による魅力発信，活性化</li></ul>
左 京 区	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学生が遅くまで飲食している</li><li>・ 学生の自転車が危険である</li></ul>
南 区	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大学や図書館等の学べる環境の充実</li></ul>
西 京 区	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 区内の学術研究施設との連携を強め，区民と学術研究施設の交流を通じたまちづくりを進めることが必要</li></ul>



## 3 - 3 主な分野別計画の概要

名称	大学のまち京都・学生のまち京都推進計画
策定年月	2009（平成21）年2月
計画期間・目標年次	2009（平成21）年度～2013（平成25）年度
趣旨	<p>平成16年4月に策定した「大学のまち・わくわく京都推進計画」（推進期間：平成16年度～平成25年度）について、平成20年度をもって計画前半期を終え、見直しの時期を迎えた。</p> <p>また、平成18年12月の「教育基本法」の改正、平成20年7月の「教育振興基本計画」の閣議決定、少子化による大学入学生数の減少や定員割れの大学の増加等、高等教育を取り巻く状況に大きな変化が生じたことから、計画後半期（平成21年度～25年度）を目標に、既存計画に代わる新たな計画を策定したものである。</p>
主要施策と実施状況等	<p>学生の確保に向けた「学びの環境」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大学の集積を生かした「単位互換制度」をさらに強化するため、遠隔地連携やコンテンツ蓄積を可能にする「eラーニング共用利用」の開発を大学コンソーシアム京都が、中心となって進めている。</li><li>・学び環境の核となる教員のレベルアップに向けたFD（教員の行為力向上）、SD（職員の職能開発）のプログラム開発を、大学コンソーシアム京都が、中心となって進めている。</li></ul> <p>大学の国際化に向けた、優秀な留学生等の受入拡大と国際社会に対応した人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・海外の大学との連携による留学生の増加に向けた取組として、大学の枠を超えてコンソーシアム間で留学プログラムを開発すべく、大学コンソーシアム京都は既にアメリカのフェンウェイコンソーシアム及びオーストラリアのビクトリア州大学連携組織と協定を締結し、取組を進めている。</li><li>・留学生宿舎用地を大学に提供するため、現在、右京区役所総合庁舎跡地の旧庁舎の解体工事を行っている。</li><li>・京都市の文化施設・事業への留学生の招待や留学生と日本人学生との交流会を開催</li></ul> <p>パワーあふれる「学生のまち京都」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「輝く学生応援プロジェクト」として、学生の活動拠点、支援制度の創設に向けて検討中。</li></ul> <p>産学公地域連携の推進による京都地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大学と地域の連携事業への助成（学まちコラボ事業）を充実させ、引き続き取り組んでいる。</li></ul>
ホームページ	<a href="http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000060482.html">http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000060482.html</a>



## 3 - 4 融合委員会ワークショップ結果

未来像	重点戦略
最先端の知にアクセスできるまち	・ 大学が市民をギャラリーとして受け入れる
大学都市 全国，世界の若者があこがれる都市	・ 教育の中で地域の歴史と人の勉強。行事と季節を大切に ・ 若者文化の創造，発信の拠点と芸術文化のサポート。創作，発表の場やスペースの確保 ・ 京都の大学卒業生の組織化（准市民）京都の大学卒業生のネットワーク化 ・ 大学の一般への公開 ・ 学生 学生市民へ 学生区民へ
大学のまち・京都 人材立地	・ 全国から大学のまち・京都に学生が集まり，市民・地域・企業との交わりの中で学び，京都の場の力を活かして自分を深める。そして，卒業後も京都に住む拠点とする。「都市間競争の時代にあって輝きを失わない都市」を促進する ・ 企業立地の先に行く人材立地（リッチ） ・ 大学生を重点に展開 ・ 入学・下宿先等をプロモートするツアー ・ 京都に住む，働く場合の奨学金返済支援プログラム ・ 夏・冬の休暇期間中の家族型，グループ型，京都産業ツアー



未来像	重点戦略
学生のまち（ポスト学生も含む）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 京都第二の故郷構想<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学生に「京都学士号」を出し，卒業後もインターネットを介して情報発信，つながりを維持。</li></ul></li></ul>
学生が逃げない京都	<ul style="list-style-type: none"><li>・ まちづくり人材を先行投資的に育成する教育プログラム</li><li>・ 学生 京都に引き続き居住するまちづくりに貢献する機会を</li></ul>
京（みやこ）流コンパクトシティ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公共交通機関インフラ大改造（公共交通無料）</li></ul>
大学の街 = 若者の街に	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 起業・就職をもっとサポート</li></ul>